



トピックス…③

農業景況低迷の中で、酪農は好調を継続 — 令和元年上半期農業景況調査より —

日本政策金融公庫・農林水産事業本部は令和元年9月27日、融資先の担い手農業者を対象に実施した「令和元年上半期農業景況調査」（令和元年7月）の結果を公表した。平成29年に過去最高値（21.2）を記録した農業全体の景況DIは、低下傾向で推移し、令和元年上半期は▲3.7となった。ここでは、本調査結果の概要を紹介する。

1. 農業景況DIは上昇するもプラス値への転換には至らず（表1～5参照）

令和元年上半期（1～6月）における農業全体の景況DIは▲3.7となり、平成30年の通年実績▲11.1から7.4ポイント上昇したが、プラス値への転換には至らなかった。

その背景には、農業全体の販売単価DI（2.1→▲13.3）が、茶や採卵鶏などを中心に相場が大幅に悪化したことでマイナス値に転落、生産コストDI（▲37.1→▲37.0）は大幅なマイナス値が継続、この結果、収支DI（▲20.1→▲12.8）と資金繰りDI（▲4.7→▲4.9）は引き続きマイナス値など、経営状態を示す各種DIがいずれもマイナス値となっていることがある。

本調査（往復はがきによる郵送アンケート調査）の対象者は、認定農業者の経営改善の取組みを後押しする「スーパーL資金」又は担い手農業者の新たな取組みを支援する「農業改良資金」の融資先（19,215件）で、有効回答数5,378件（回収率：28.0%）であった。

主な業種別回答数は、稲作（北海道）：505件、稲作（都府県）：1,370件、畑作：406件、露地野菜：482件、施設野菜：430件、酪農（北海道）：186件、酪農（都府県）：224件、肉用牛：413件、養豚：207件、採卵鶏：130件、ブロイラー：73件であった。

なお、DI（Diffusion Index = 動向指数）とは、前年と比較して、「良くなった」とする農業者の回答割合から、「悪くなった」とする回答割合を差し引いた値で、上向き、下向きといった方向感を捉える指標である。

2. 業種別の景況DIは酪農が好調を維持（表1参照）

景況DIを業種別にみると、酪農（北海道：25.0→28.0、都府県：2.5→21.0）は、乳価の改定による乳価上昇を背景にプラス値を維持している。養豚（▲27.2→6.3）は、昨年の軟調な価格推移から回復基調となったことで、プラス値に転換した。肉用牛（4.7→8.3）は、平成28年までの顕著な価格上昇から現在の相場は落ち着いた状況にあるものの、プラス値を維持している。

稲作（北海道：▲51.8→▲6.8、都府県：▲10.7→▲4.3）については、北海道を中心とする昨年の作況悪化の反動により、景況DIはマイナス値ながら改善の兆しがみられる。一方で、茶や採卵鶏では景況DIの悪化が顕著となっている。茶（▲14.5→▲50.4）は、昨年の価格低下を受けて生産量を減らしたものの、価格の回復にはいたらず、景況DIは大きく低下している。また、採卵鶏（▲61.2→▲70.8）は、昨年からの価格の低下に歯止めがかからず、景況DIは引き続き大幅なマイナス値となっている。

3. 農業景況DIの通年見通しは上半期と横ばいで推移（表1参照）

農業全体の景況DIの令和元年通年見通しは、上半期実績から横ばいの▲4.3となっている。

業種別にみると、酪農、とくに都府県の酪農（21.0→25.4）が堅調な乳価を背景に引き続き高い値を示す見通しである。一方で、平成30年から2年連続で平均取引価格が過去最低を更新した茶（▲50.4→▲57.8）や、卵相場の低迷している採卵鶏（▲70.8→▲66.7）では、大幅なマイナス値が続く見込みである。なお、販売単価DIが昨年悪化していたブロイラーは、上半期までの景況DIはプラス値を維持していたが、通年ではマイナス値に転落する見通しである。

4. 労働力不足の下で積極的な設備投資が継続（表6～7参照）

設備投資の動向は、令和元年7月の調査時点で「令和元年に設備投資予定あり」又は「実施済み」と回答した割合が農業全体で54.9%となり、平成31年1月調査（平成31年に設備投資予定あり：44.3%）から10.6ポイント上昇し、引き続き高い水準となっている。とくに、酪農においては北海道、都府県ともに、設備投資に積極的であることがうかがえる。なお、令和元年に設備投資を「実施済み」又は「設備投資予定あり」と回答した者に対して、今年設備投資額の増減見通しを聞いたところ、「昨年に比べ増加する」との回答が約半数を占めた。

また、令和元年上半期における農業全体の雇用状況DIは▲33.8となり、前年（▲34.7）からほぼ横ばいで推移した。同DIの調査を開始した平成27年以降、全業種で大幅なマイナス値が続いており、依然として深刻な労働力不足の状況にあることを示している。とくに、北海道の酪農は、▲44.1から▲45.5と深刻な労働力不足が続いている。

表1. 景況DI

	平成22年 実績	23年 実績	24年 実績	25年 実績	26年 実績	27年 実績	28年 実績	29年 実績	30年 実績	令和元年 上半期実績	令和元年 通年見通し
農業全体	▲25.2	▲7.9	13.2	▲1.4	▲33.7	16.8	20.0	21.2	▲11.1	▲3.7	▲4.3
稲作（北海道）	▲36.9	43.5	43.9	▲4.2	▲67.2	20.1	▲4.9	39.7	▲51.8	▲6.8	▲11.2
稲作（都府県）	▲55.5	13.1	36.2	▲10.2	▲71.0	▲3.8	23.6	10.3	▲10.7	▲4.3	▲3.5
畑作	▲32.2	▲19.1	1.6	▲27.6	▲5.3	35.2	▲17.6	34.8	▲22.7	▲2.2	▲3.5
露地野菜	▲2.0	▲14.0	6.7	15.1	▲15.7	14.3	14.7	7.5	▲3.4	▲9.5	▲7.3
施設野菜	▲6.9	▲15.7	19.9	15.6	▲8.4	20.3	26.3	15.0	▲1.4	▲17.7	▲7.3
茶	▲32.1	▲47.3	▲12.8	▲44.8	▲55.0	▲53.1	11.1	26.5	▲14.5	▲50.4	▲57.8
果樹	▲0.9	▲11.7	16.0	6.3	▲12.7	11.5	25.6	21.8	20.6	11.1	7.5
施設花き	▲20.5	▲38.8	▲8.0	▲2.8	▲34.4	▲5.9	11.8	▲10.6	▲13.7	▲18.9	▲12.4
きのこ	▲51.8	▲47.1	▲19.6	4.7	▲20.7	15.2	1.1	▲2.5	▲21.0	▲10.0	▲2.9
酪農（北海道）	▲37.8	▲26.9	▲2.2	▲9.4	▲4.1	55.9	57.6	44.8	25.0	28.0	8.0
酪農（都府県）	0.0	▲24.2	0.0	▲23.8	▲30.9	29.3	52.2	12.6	2.5	21.0	25.4
肉用牛	▲7.4	▲47.4	8.3	20.5	▲1.2	48.5	50.3	17.5	4.7	8.3	1.3
養豚	15.5	▲6.2	▲38.1	43.6	67.5	48.8	26.2	59.4	▲27.2	6.3	11.6
採卵鶏	14.1	8.4	▲40.6	43.9	28.6	71.0	40.8	32.7	▲61.2	▲70.8	▲66.7
ブロイラー	▲20.0	▲6.3	▲1.3	▲22.4	10.4	51.9	27.4	55.3	15.9	12.4	▲5.5

出典：「農業景況調査（令和元年7月調査）」（日本政策金融公庫 農林水産事業本部）、以下同じ。

表2. 収支D I

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年上半期
農業全体	▲26.3	▲7.2	12.5	▲7.0	▲39.7	14.2	16.7	14.7	▲20.1	▲12.8
稲作(北海道)	▲40.8	54.7	44.7	▲14.4	▲72.4	21.3	▲13.7	43.0	▲63.3	▲21.5
稲作(都府県)	▲61.1	14.0	37.8	▲22.0	▲76.7	▲6.5	23.8	2.2	▲18.8	▲10.7
畑作	▲32.3	▲21.4	▲1.4	▲35.8	▲13.8	33.9	▲24.7	28.1	▲27.5	▲19.0
露地野菜	0.5	▲18.1	0.7	8.9	▲23.6	5.7	13.1	▲0.9	▲14.8	▲23.5
施設野菜	▲9.5	▲18.2	16.7	9.3	▲19.5	15.3	20.3	5.6	▲11.8	▲26.1
茶	▲26.3	▲44.9	▲11.9	▲43.8	▲59.0	▲52.4	8.1	25.8	▲16.1	▲60.0
果樹	1.4	▲12.2	14.2	0.9	▲20.3	6.3	19.3	12.0	7.4	3.5
施設花き	▲20.2	▲38.8	▲9.7	▲8.5	▲39.2	▲8.1	9.1	▲24.6	▲22.0	▲19.7
きのこ	▲50.0	▲46.5	▲13.7	7.0	▲17.1	11.4	▲1.0	▲3.8	▲24.7	▲13.8
酪農(北海道)	▲44.0	▲25.9	▲3.4	▲10.5	▲12.6	55.5	57.0	36.8	7.4	20.8
酪農(都府県)	▲0.8	▲27.7	▲2.6	▲25.4	▲34.3	25.4	48.4	1.7	▲3.3	12.5
肉用牛	▲5.7	▲49.9	9.9	20.2	▲7.6	50.8	48.6	7.0	▲4.1	▲2.0
養豚	21.3	▲4.2	▲38.1	44.9	69.9	50.2	19.1	57.9	▲34.9	▲5.8
採卵鶏	29.5	14.3	▲45.6	56.7	31.0	63.0	44.8	31.9	▲62.8	▲59.9
ブロイラー	▲5.5	▲10.9	1.3	▲22.4	6.0	42.3	29.1	55.3	4.3	▲3.2

表3. 資金繰りD I

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年上半期
農業全体	▲14.7	▲3.8	9.8	▲0.9	▲29.2	7.6	15.5	15.5	▲4.7	▲4.9
稲作(北海道)	▲18.2	34.5	31.8	▲0.7	▲52.4	8.2	▲2.5	23.8	▲30.4	▲7.7
稲作(都府県)	▲38.1	10.0	29.2	▲6.7	▲59.2	▲10.7	13.5	7.3	▲5.9	▲8.5
畑作	▲12.0	▲9.7	2.4	▲17.0	10.4	19.9	▲3.3	23.3	▲5.3	▲3.2
露地野菜	2.0	▲13.2	2.7	7.2	▲14.2	2.3	14.2	2.7	▲6.4	▲8.5
施設野菜	▲4.2	▲6.3	12.7	8.1	▲10.6	16.0	19.8	11.5	0.8	▲17.7
茶	▲28.9	▲33.0	▲16.4	▲32.5	▲43.7	▲41.3	4.3	20.2	▲8.0	▲51.2
果樹	▲6.6	▲8.7	7.2	1.4	▲14.8	1.4	14.7	8.6	8.9	7.8
施設花き	▲19.2	▲27.4	▲14.7	▲9.8	▲34.4	▲6.8	7.3	▲5.9	▲6.9	▲20.2
きのこ	▲37.3	▲39.6	▲23.5	0.0	▲29.3	10.1	1.0	7.5	▲24.7	▲12.9
酪農(北海道)	▲18.9	▲15.1	▲3.1	▲5.0	▲6.3	39.2	45.7	36.3	21.1	25.8
酪農(都府県)	3.5	▲17.8	1.8	▲14.4	▲26.2	26.5	42.1	16.4	5.4	17.0
肉用牛	▲2.8	▲26.7	8.1	9.7	▲6.1	27.8	34.6	16.9	8.7	8.3
養豚	16.7	▲4.2	▲26.8	37.1	59.3	45.0	32.4	55.6	▲7.1	5.4
採卵鶏	18.1	15.6	▲24.4	39.0	26.8	56.0	44.8	31.1	▲30.2	▲44.6
ブロイラー	3.6	▲4.7	18.4	▲16.4	3.0	38.5	29.1	50.0	27.6	15.1

表4. 販売単価D I

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年上半期
農業全体	▲41.3	▲12.7	4.5	▲11.1	▲40.0	13.1	26.1	24.3	2.1	▲13.3
稲作(北海道)	▲84.0	32.9	40.4	▲51.9	▲88.6	10.1	19.9	54.4	▲5.9	▲7.8
稲作(都府県)	▲85.8	25.2	43.3	▲58.7	▲88.2	7.0	33.4	36.0	16.9	▲6.5
畑作	▲40.4	▲34.4	▲29.7	▲36.2	▲30.5	▲15.4	▲3.5	▲2.1	▲1.9	▲12.2
露地野菜	9.8	▲32.6	▲19.6	17.0	▲33.5	▲10.0	16.5	▲7.8	0.8	▲37.2
施設野菜	▲14.3	▲27.3	0.9	▲0.4	▲32.8	▲0.6	26.0	8.7	▲11.6	▲38.5
茶	▲36.6	▲43.0	▲27.9	▲62.1	▲64.0	▲59.4	▲1.3	18.1	▲41.1	▲65.8
果樹	20.1	▲15.1	1.9	▲1.4	▲25.4	10.9	34.9	28.0	15.0	25.5
施設花き	▲37.3	▲52.0	▲27.0	▲21.1	▲47.0	▲15.4	7.3	▲28.6	▲23.3	▲36.6
きのこ	▲69.9	▲53.9	▲42.2	1.2	▲22.0	6.4	▲18.2	▲11.3	▲39.6	▲41.4
酪農(北海道)	▲66.7	▲22.0	37.4	36.0	59.3	85.9	79.3	67.8	47.6	35.8
酪農(都府県)	▲5.9	▲24.0	▲2.1	51.7	23.0	61.7	50.7	14.4	17.6	65.8
肉用牛	▲33.6	▲65.4	▲4.9	59.0	46.4	85.8	76.4	17.1	20.4	▲14.5
養豚	11.2	▲22.9	▲71.5	70.1	84.1	26.9	▲15.1	63.6	▲55.0	7.2
採卵鶏	38.9	▲11.7	▲48.8	82.3	53.6	74.0	▲12.0	1.7	▲66.7	▲81.9
ブロイラー	▲12.7	3.1	▲47.4	▲22.4	10.4	28.8	▲9.7	37.5	▲11.6	▲24.2

表5. 生産コストD I

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年上半期
農業全体	▲43.6	▲48.6	▲50.7	▲62.9	▲66.3	▲44.7	▲19.1	▲25.2	▲37.1	▲37.0
稲作(北海道)	▲47.8	▲53.5	▲49.7	▲63.0	▲69.0	▲44.1	▲24.2	▲18.8	▲36.9	▲46.4
稲作(都府県)	▲38.6	▲40.7	▲38.3	▲43.6	▲53.2	▲36.5	▲11.5	▲11.2	▲18.2	▲25.4
畑作	▲55.2	▲62.3	▲55.8	▲70.4	▲78.2	▲63.7	▲32.6	▲28.4	▲38.5	▲42.5
露地野菜	▲54.4	▲55.3	▲46.9	▲65.1	▲67.5	▲56.8	▲28.9	▲40.0	▲46.3	▲43.8
施設野菜	▲55.9	▲52.4	▲52.4	▲64.5	▲63.4	▲41.0	▲26.5	▲39.9	▲49.0	▲51.5
茶	▲38.1	▲53.1	▲48.4	▲68.5	▲72.5	▲30.1	▲11.1	▲32.2	▲46.7	▲46.2
果樹	▲46.0	▲38.1	▲44.8	▲55.8	▲67.0	▲48.4	▲31.3	▲37.3	▲39.0	▲42.0
施設花き	▲34.9	▲48.9	▲53.3	▲70.7	▲72.8	▲33.5	▲21.9	▲48.6	▲53.5	▲60.8
きのこ	▲38.6	▲43.1	▲40.6	▲64.0	▲74.4	▲43.0	▲22.4	▲28.8	▲59.2	▲48.5
酪農(北海道)	▲51.1	▲59.0	▲68.8	▲81.9	▲80.4	▲46.4	▲4.9	▲35.2	▲48.2	▲33.3
酪農(都府県)	▲34.0	▲53.9	▲67.5	▲83.5	▲83.6	▲46.6	▲0.7	▲32.9	▲40.4	▲31.5
肉用牛	▲42.3	▲38.0	▲65.7	▲83.1	▲81.9	▲63.1	▲37.3	▲41.3	▲46.7	▲26.9
養豚	▲21.0	▲48.7	▲65.9	▲69.6	▲59.8	▲17.7	16.9	12.1	▲37.0	▲25.3
採卵鶏	▲23.5	▲31.2	▲61.9	▲79.9	▲78.6	▲32.0	11.2	▲12.0	▲49.6	▲43.0
ブロイラー	▲54.5	▲42.2	▲42.1	▲76.1	▲59.7	▲44.2	▲4.8	▲16.1	▲23.2	▲16.4

表6. 設備投資予定ありの比率

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年 半年経過時点
農業全体	33.1	37.3	42.0	39.5	34.5	43.6	51.8	46.6	44.3	54.9
稲作(北海道)	33.5	45.3	48.8	39.7	26.1	44.1	48.6	45.2	41.0	56.3
稲作(都府県)	35.0	45.7	50.9	46.1	32.5	45.1	53.5	49.8	47.0	59.7
畑作	38.6	40.3	46.6	37.6	37.2	50.1	54.1	53.2	49.7	60.4
露地野菜	35.2	36.8	41.3	41.1	34.8	41.9	50.8	44.6	43.8	50.7
施設野菜	32.7	34.9	36.8	35.8	34.6	38.6	46.3	40.2	38.0	44.9
茶	30.7	31.1	35.9	32.2	30.3	28.2	45.7	40.5	40.7	35.5
果樹	29.7	30.3	39.9	33.6	31.7	38.2	45.5	33.5	35.2	46.6
施設花き	21.2	29.9	29.4	27.7	26.3	28.1	41.1	30.8	28.8	38.2
きのこ	27.7	25.5	28.7	43.0	36.6	44.9	47.3	43.2	51.9	52.9
酪農(北海道)	23.9	24.7	32.0	27.8	36.4	42.0	53.7	46.1	44.3	57.0
酪農(都府県)	36.2	34.0	34.3	35.9	42.8	38.3	58.0	49.4	48.4	63.5
肉用牛	28.4	30.8	37.8	36.5	41.1	49.9	56.8	46.2	45.1	55.6
養豚	36.4	38.4	36.2	49.3	55.9	54.4	62.1	58.0	45.5	58.5
採卵鶏	40.0	38.3	27.8	39.8	46.5	54.0	61.3	61.2	44.2	48.1
ブロイラー	45.5	39.1	43.4	38.8	47.8	55.8	59.7	51.8	55.1	57.5

表7. 雇用状況D I

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年 上半期
農業全体	▲26.3	▲33.6	▲36.8	▲34.7	▲33.8
稲作(北海道)	▲26.7	▲35.6	▲39.0	▲41.2	▲37.2
稲作(都府県)	▲18.8	▲27.3	▲27.8	▲27.6	▲31.5
畑作	▲33.6	▲40.8	▲45.0	▲40.9	▲43.1
露地野菜	▲34.9	▲41.5	▲43.4	▲36.7	▲29.7
施設野菜	▲24.1	▲30.8	▲33.0	▲30.9	▲26.9
茶	▲26.6	▲30.8	▲37.7	▲40.7	▲35.3
果樹	▲25.6	▲32.0	▲36.8	▲36.9	▲41.0
施設花き	▲26.8	▲31.6	▲34.4	▲31.8	▲32.4
きのこ	▲26.6	▲37.6	▲41.2	▲42.0	▲47.0
酪農(北海道)	▲40.4	▲45.0	▲52.5	▲44.1	▲45.5
酪農(都府県)	▲25.8	▲28.0	▲27.6	▲26.3	▲28.3
肉用牛	▲24.7	▲28.7	▲34.3	▲32.4	▲29.3
養豚	▲35.6	▲44.5	▲44.3	▲32.7	▲26.2
採卵鶏	▲31.0	▲43.2	▲47.4	▲41.1	▲41.5
ブロイラー	▲15.4	▲21.4	▲36.4	▲25.0	▲36.1